

世界で親しまれる日本マンガを学ぶフランスの学生 10 名が来日 日本の編集者から直接講評、出版社への作品持ち込みを実践 ヒューマンアカデミー、日本と海外をつなぐマンガクリエイター育成を推進

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信）の全日
制専門校「総合学園ヒューマンアカデミー」（以下、当学園）が、フランスで展開する「ヒューマンアカデミーヨーロッパ」
（以下、当校）のマンガ科に所属する学生 10 名を対象に、日本の出版社編集部による作品講評や作品持ち込み
を中心とした実践教育プログラム、「MANGA CAMP（日本研修）」を 2026 年 7 月 12 日から 7 月 17 日まで開
催しました。日本の出版社とのネットワークを生かした実践教育を通じて、海外でマンガを学ぶ学生と、日本のマンガ産
業をつなぎ、国境を越えて活躍するクリエイターの育成とキャリア形成を支援しています。

【本件のポイント】

- フランスでマンガを学ぶ学生 10 名が来日し、日本の出版社編集部から直接講評を受ける実践研修を実施
- 出版社への作品持ち込みや編集者との対話を通じ、日本のマンガ業界における作品提案・講評のプロセスを体験
- ヒューマンアカデミー独自の出版社ネットワークと通訳・作品翻訳、持ち込み等を支援し、世界で活躍するマンガク
リエイターの育成とキャリア形成を推進



■背景：世界で親しまれる日本マンガ 日本の出版社との連携で海外クリエイターの育成を推進

日本のマンガ・アニメは海外において広く親しまれ、現地でも日本式の作画技術やストーリー制作が学ばれています。
プロのマンガ家を目指す上では、こうした制作技術に加え、編集者への作品持ち込みや講評、新人賞への応募など
を通じて、作品についてプロの視点から評価を受ける実践的な経験も重要です。当校では、フランスでのマンガ教育と日本
の出版社とのネットワークを組み合わせ、海外で学ぶ学生が日本の編集者から直接指導を受け、プロとしてのキャリア形
成につなげる実践教育を展開しています。

■研修の様子

・日本のマンガ、アニメ文化や日本文化への理解を深める

10名の学生が来日し、研修期間中は国立オリンピック記念青少年総合センターを拠点に、出版社への作品持ち込みや作品講評会などに参加しました。また、三鷹の森ジブリ美術館や中野ブロードウェイ、アニメイト池袋本店、「ヒカルの碁 原画展」などを訪れ、日本のマンガ・アニメ文化に触れたほか、浅草観光やお好み焼き・もんじゃ焼きなどの日本文化も体験しました。



国立オリンピック記念青少年総合センター前で撮影



三鷹の森ジブリ美術館を訪問した参加者

・7月13日（月）午前中 プロマンガ家・坂本憲司郎先生による講義

午前中は、国立オリンピック記念青少年総合センターの研修室で、当学園マンガ・イラストカレッジ1期生で、現在は同カレッジの講師として後進の育成にも携わるプロのマンガ家、坂本憲司郎先生による講義を実施しました。



坂本憲司郎先生による講義

■7月13日（月）午後～7月17日（金）日本のマンガ編集者による作品講評・出版社への持ち込みを実践

7月13日（月）と14日（火）は、国立オリンピック記念青少年総合センターにマンガ編集者を招き、学生の作品講評を実施しました。15日（水）から17日（金）は、学生たちが出版社の編集部を訪れ、自らの作品を持ち込み、作品講評を受けました。各編集者による作品講評を通じて、ストーリー構成やキャラクター表現、作品の魅力を読者に伝えるための見せ方などについて具体的なアドバイスを得ました。

また、通訳を介しながら自らの作品を編集者に説明し、意見を交わすことで、日本のマンガ業界における作品持ち込みや、編集者とともに作品を磨いていくプロセスを実践的に学びました。

<作品講評・持ち込み実施概要>

7月13日（月）：サイドランチ編集部による作品講評

7月14日（火）：秋田書店 少年チャンピオン月刊誌編集部・週刊少年チャンピオン編集部による作品講評

7月15日（水）：小学館 週刊ビッグコミックスピリッツ編集部・マンガワン編集部への作品持ち込み・講評

7月16日（木）：集英社 週刊ヤングジャンプ編集部への作品持ち込み・講評

7月17日（金）：講談社 ヤングマガジン編集部への作品持ち込み・講評

■ 出版社編集部作品講評・持ち込み

5 日間にわたり、日本の編集者から直接作品講評を受け、出版社への作品持ち込みを実践しました。



出版社への作品持ち込みを実践



編集者による作品講評



通訳を介し、編集者と作品について意見交換

■ 編集者からのコメント

「作品を見て日本の漫画にインスパイアを受けていると感じ、それは勉強している証拠でもあるので、嬉しい気持ちはあります。日本の漫画の良さは“わかりやすさ”。それを意識するとさらによくなるかと思います。」

「海外の方が日本の漫画を学んでいることは作品から伝わりましたし、学ぶ姿勢はとても好感が持てました。応援しています。」

■ 研修を通じた成果と今後の展開

本プログラムでは、日本の編集者から作品講評を受け、出版社に自らの作品を持ち込む実践的な経験を積みました。マンガ業界では、作品の持ち込みなどをきっかけに編集者から名刺をいただくなど継続的な接点が生まれることが、プロを目指す上での一つのステップとなります。本プログラムでは、作品講評時の評価をキャラクター・ストーリー・構成力・デッサン力など複数の項目で採点、学生が感覚的に理解できるようフランスの学校で用いられている 20 点満点方式で 16 点以上を、マスターレベルとし、いわゆる持ち込みでプロになるための登竜門である「名刺獲得相当」の目安としています。今回の研修では、参加学生が 6 枚の名刺獲得相当の評価を得ました。

また、研修終了後には参加学生のうち 2 名が、プロマンガ家・坂本憲司郎先生のアシスタントとして 2 日間のインターンシップを経験し、プロの制作現場で実践的な学びを深めました。当校ではこれまでも、日本でマンガ家アシスタントのインターンシップ機会を設けるなど、学びを実践につなげる取り組みを継続しています。

今後も当校では、日本と海外をつなぐ実践的なマンガ教育を通じて、学生が国境を越えてプロのクリエイターとして活躍するための学びと挑戦の機会を提供してまいります。

■プログラム監修者について

本プログラムは、自身もマンガ家であり、当学園及び当校の教育に長年携わる、すねやかずみ先生が中心となって企画・監修しています。

海外で日本のマンガを学ぶ学生が、日本のマンガ編集者から直接作品講評を受けられる機会を創出するため、日本の出版社との橋渡し役を担い、本プログラムを継続的に実施しています。



◆すねやかずみ先生プロフィール

1963 年東京都生まれ。1982 年、秋田書店『週刊少年チャンピオン』月例新人賞を受賞しデビュー。マンガ家として活動する傍ら、京都精華大学や総合学園ヒューマンアカデミーで講師を務める。2016 年からヒューマンアカデミーヨーロッパのマンガ教育に携わり、アングレーム校・パリ校の開校やオンラインコースの開発などを通じて、海外で日本のマンガ教育の普及と人材育成に取り組む。

◆すねや先生コメント

「2007 年からヒューマンアカデミーで講師をしていて、2014 年からは台湾など海外でも漫画を教えています。漫画は日本がメジャーリーグです。海外で学ぶ学生にとって、日本の漫画文化である投稿・持ち込みをして編集者から直接指導を受ける経験は、技術だけでなく作品づくりへの考え方を大きく成長させます。

当校では作品の日本語セリフ翻訳・日本の新人賞への投稿・持ち込みの支援、編集者との面談時の通訳や滞在サポート、編集部との継続的なオンライン講評会など、今後も世界で活躍するマンガクリエイターを育てる架け橋となる教育と支援を続けていきたいと思います。」

■ヒューマンアカデミーヨーロッパについて

フランスで伝統的なマンガ関連のイベント「アングレーム国際漫画祭」の開催地であり、多数のアニメーション制作スタジオ等が集まる、マンガ・アニメ産業が盛んな都市、アングレームにて、2015 年 9 月に開校しました。日本で培ってきたマンガ教育のノウハウを生かし、現地でマンガ家・クリエイターを目指す人材の育成に取り組んでいます。

現在はアングレームに校舎を構えるほか、フランス語へ翻訳された講義動画と、課題添削を組み合わせたりリアルタイム伴走型の個別指導によるオンライン講座も展開し、場所を問わずマンガ制作を学べる環境を提供しています。

■ヒューマンアカデミーについて

<https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスキング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELFing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail : ha_info@athuman.com

■ヒューマングループについて

1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした 4 領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT を通じた「生産性の向上」に注力。SDGs への貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。



●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：<https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

- 代表者：代表取締役 田中 知信 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
- 資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail：kouhou@athuman.com